特集

男女共同参画月間

一人ひとりが尊重され、誰もが活躍できる（キラリ輝く）社会を目指して

2026 年は、男女雇用機会均等法の施行（1986 年）から 40 年、女性活躍推進法の施行（2016 年）から 10 年という節目の年です。また、11 月は茨城県男女共同参画推進条例により定められている「男女共同参画月間」となっています。男女共同参画やダイバーシティについて、性別にかかわらず誰もが暮らしやすい多様な幸せ（well-being（ウェルビーイング））※の実現に向けた最新の動向と市の取り組みなどをお伝えします。

※身体的、精神的、社会的に満たされた状態

男女共同参画をめぐる最新の動向

■ 独立行政法人男女共同参画機構（JGEPA（ジーパ））の設立

今年４月に男女共同参画に関する施策を総合的に行うナショナルセンターとして、各自治体の男女共同参画センターを強力に支援するための機関が設立されました。男女共同参画促進施策の策定や男女共同参画業務に従事する職員などへの研修、専門的な調査や研究などを行うことにより、男女共同参画促進施策の推進を図っています。

■ 女性活躍推進法の改正（2026 年４月改正）

これまで従業員 301 人以上の企業の義務であった「男女の賃金差異」の公表が、101 人以上の企業にも義務化されました。また、法改正により、女性管理職比率の公表について 101 人以上の企業で公表が必要となりました。

男女間の賃金格差　※一般労働者（短時間労働者以外）の所定内給与額１か月あたり

	1985 年	1995 年	2005 年	2015 年	2025 年
男 性	244,600 円	330,000 円	337,800 円	335,100 円	373,400 円
女 性	145,800 円	206,200 円	222,500 円	242,000 円	285,900 円
数値水準（男性＝100）	59.6	62.5	65.9	72.2	76.6

※この表は、企業が女性活躍推進法に基づき公表する「男女間賃金差異」とは算定方法が異なります。

（出典：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」および男女共同参画機構リーフレット）

■ 女性活躍・男女共同参画の重点方針 2026（女性版骨太の方針）

６月 25 日に決定され、女性の生涯にわたる健康支援、AI や半導体などの成長戦略分野における女性の活躍、誰もが暮らしやすい地域づくりなどについて方針が示されました。

茨城県内の市における審議会の女性委員割合（上位３市）
（令和７年４月１日現在）

１位　つくば市　240 人 /620 人　38.7％（前年 30.6％）

２位　水戸市　391 人 /1043 人　37.5％（前年 35.3％）

３位　笠間市　129 人 /346 人　37.3％（前年 37.0％）

（出典：内閣府　地方公共団体における男女共同参画社会の形成または女性に関する施策の推進状況）

市区町村女性参画状況見える化マップ
（内閣府ホームページ）

こちらから各分野における女性の参画状況などのデータがわかりやすくご覧いただけます。

市の取り組み

ユニバーサルデザインの意識醸成

Ｄ＆Ｉ（ディーアンドアイ）という言葉をご存じですか。多様性を意味する「ダイバーシティ」と包括・一体的を意味する「インクルージョン」の頭文字を取った言葉です。年齢、性別、国籍、障がいの有無、性的志向などに関わりなく、一人ひとりが尊重され、それぞれが活躍できる環境を実現するための考え方となります。幅広い年代に考え方を学んでいただくため、中学生を対象にユニバーサルマナーアカデミックプログラム（講習会）を開催しています。今年度は 11 月 18 日に友部第二中学校２年生の皆さんを対象に実施します。



昨年の開催の様子（友部中学校にて）

受講アンケート結果

○「講義の内容は今後の生活に役立つ（活かせる）と思いますか」（回答数130）
①とても役立つと思う　97
②ある程度役立つと思う　33
③あまり役立たないと思う　0
④ほとんど役立たないと思う　0

○「今回学んだことをどんな場面で活かしたいと思いますか」（複数回答）
①学校　59　②家庭　29　③街中　110　④特にない　3
⑤その他　将来的に介護の仕事、日常生活など

○感想
・さまざまな個性や違いを持つ人々とともに生きることの大切さを学びました。
・自分とは異なる他者のことを考え、思いやりのある行動が求められることを理解しました。

多様な生き方・働き方促進事業

10 月 25 日に女性活躍支援講座「地域で起業するという選択」を笠間市地域交流センターいわま「あたご」で開催しました。毎年テーマを変え実施しており、昨年は「ワーク・ライフ・バランス」、今年は「多様な働き方」として、市内の事業者を紹介しながら、働き方を見直したい方、地域活動や副業に関心がある方を対象に実施しました。

女性活躍推進事業者認定

女性の登用や育成、ワーク・ライフ・バランスの推進など、職場における女性活躍や男女共同参画に積極的に取り組んでいる事業者を「キラリかさま優良企業」として認定しています（現在９事業所）。

認定マーク

いばらきダイバーシティ宣言への登録勧奨

笠間市役所として茨城県の制度である「いばらきダイバーシティ宣言」に登録しました（令和３年秋）。趣旨に賛同する市内事業者や団体へ登録を進めています（現在 17 団体）。

笠間市男女共同参画審議会

９月 29 日、令和８年度第１回笠間市男女共同参画審議会を開催しました。この審議会では、男女共同参画やダイバーシティ社会の推進に関する施策や各種事業の進捗状況について、公募による市民、関係団体、キラリかさま優良企業などから選出された 11 名の委員が意見交換を行いました。市では、今年３月に閣議決定された第６次男女共同参画基本計画及び第５次茨城県男女共同参画計画と整合性を図りながら、令和９年度に次期「キラリかさまプラン」の策定を進めていきます。



令和８年度第１回審議会の様子

問 総務課（内線 132）